

## 株式会社椿本チェインの「全国発明表彰」に寄せて

東和国際特許事務所  
 所長弁理士  
 津野 孝

株式会社椿本チェインは、「低騒音・低発塵ケーブルガイドの発明」で、公益社団法人発明協会主催の平成24年度全国発明表彰において、特別賞の「日本商工会議所会頭発明賞」を受賞。表彰式は、常陸宮殿下・同妃殿下の御臨席の下、6月19日(火)ホテルオークラ東京において執り行われ、発明者の宇瀧 昭彦氏、小宮 庄一郎氏に「日本商工会議所会頭発明賞」が、併せて、代表取締役社長の長勇氏に「発明実施功績賞」がそれぞれ授与された。

そこで、本稿では、この発明の出願代理人として、同社の榮譽に心からお祝いを申し上げると共に、全国発明表彰の趣旨と受賞のポイントなどをご紹介しますことにより、本誌読者の知財活動に資することを期待したいと思います。

### 「全国発明表彰」の趣旨とその式典の様子

この全国発明表彰は、大正8年、発明の奨励・育成を図り、わが国科学技術の向上と産業の発展に寄与することを目的に始まり、以来、発明の完成・実施化等に貢献した者を顕彰しているものであり、特に、「日本商工会議所会頭発明賞」は、学技術的に秀でた進歩性を有し、かつ顕著な実施効果を上げている発明に贈られる。



平成24年度全国発明表彰式では、表彰式は、国歌奏楽の後、協会総裁である常陸宮殿下から「おことば」を賜り、野田佳彦内閣総理、平野博文文部科学、枝野幸男経済産業の各大臣が文書で祝辞を寄せた。

表彰式の当日は、台風直撃による交通機関の乱れもあったが、各界関係各位の多くのご参集があり、祝賀会にて常陸宮両殿下から受賞者への温かいお言葉も賜り、盛会となった。

### 「日本商工会議所会頭発明賞」の受賞ポイント

今回の受賞は、動く装置に繋がるケーブルやホースを断線・破損から保護し、支持案内する装置のケーブルガイド(商品名:ケーブルベヤ)において、従来の固定概念を捨て、樹脂の柔軟性を利用してリンク中央のたわみ部で屈曲と衝撃吸収を行い、連結部の固定に独自構造を採用することにより、従来品より格段に優れた低発塵性(ISOクラス1)、低騒音性(35dB(A))、高耐久性(1億往復以上)を実現させたことが評価されたもの。

しかも、本発明が液晶・半導体関連の超精密機器や高クリーン環境、高速・高頻度用途などに採用され、最先端技術を支える製品として高い評価を受けていることも更なる評価に繋がったもの。



公益社団法人発明協会ホームページ: <http://koueki.jiii.or.jp/>  
 株式会社椿本チェインホームページ: <http://www.tsubakimoto.jp/>